

會 告

1. 戦争の末期以來、會誌印刷所の焼失、學會職員多數の罹災等の爲に、學會誌の發行を始め學會の各事業は停止の止むなき状態にありましたが、今回漸く會誌發行の運びとなりました。昭和19年度後半より20年度に亘る會誌、論文集は如上の事情により發行不能のまま、新しい昭和21年度第1巻を發行する事となりました事に就いては、會員各位殊に論文寄稿者各位の御了承を切に御願ひする次第であります。

本年度會誌、論文集の原稿は差し當り19年度に於ける手持ち原稿を以て之に當てる事と致しましたが、之も印刷等の都合により受付順とはかなり前後して居りますが、この點も寄稿者各位の御了承を得度く思ひます。尙印刷費の昂騰、用紙の不足等の爲に、餘り長編の論文は掲載出来ませんから、今後御寄稿の際には論文の要旨を發表するを主眼として、長くとも會誌15頁程度までに止めて戴き度いと思ひます。

水理公式集も焼失の危に會ひましたが、之も再び印刷に移す準備を行つて居ります。

昭和21年度論文集第1號は差し當り、19年度論文集申込みの會員に頒布致し、第2號以降(2, 3號の2冊の豫定)に對して更めて申込みを受けますから、豫約金10圓と共に學會宛御申込み下さい。

2. 今後論文寄稿の際は下記要領の論文要旨を必ず添附して下さい。右は全科技聯中央文獻會より出版される文獻總覽及び本會々誌所載論文集内容梗概の原稿となります。

執筆要領

- (1) 論文の研究目的、方法及び成果を明かにすること
- (2) 400字程度とすること
- (3) 著者名は振假名をつけること
- (4) 外國人名は原語、外國地名(中華民國を除く)は片假名とすること

3. 本年度學會々費は差し當り變更はありませんが、諸物價の騰貴の爲に會誌の印刷等も困難の實情ですから、會費の速かな御拂込を願ひます。

	半年	1年
會員會費	6圓	12圓
准員會費	4.5圓	9圓
學生員會費	3圓	6圓

4. 會誌發送並に種々の連絡に支障を生じて居りますので、勤務場所及住所變更の如何に拘らず、此の際至急に御通知下さい。會誌は通知のあつた方から順次發送致すやうになるかも知れませんが御了承下さい。

會 告

事務所移轉

昭和 21 年 6 月 8 日開催せる常議員會に於て本會事務所移轉を決定し同月 15 日移轉を完了致しました。

新事務所 東京都京橋區新川 2 丁目 12 番地 (永代橋際)

備考 舊事務所 (第二富國館内所在) は富國生命保險相互會社の所有建物でありました處今般右本社建物が聯合軍に接収せられましたので第二富國館に移轉のため本會に明渡を要求せられ余儀なく上記に移轉することとなりましたから左様御了承願ひます。

會 務 報 告

昭和 21 年度役員氏名

昭和 21 年 5 月 18 日開催せる總會に於て本年度役員を下記の通り決定致しました。

會 長	鹿 島 精 一 君 (新任)	常 議 員	平 井 敦 君 (新任)
副 會 長	鮫 島 茂 君 (重任)	"	平 松 頼 夫 君 (")
"	岡 田 信 次 君 (新任)	"	松 井 達 夫 君 (")
常 議 員	新 井 義 輔 君 (")	"	柳 澤 米 吉 君 (重任)
"	岡 本 舜 三 君 (")	"	山 本 三 郎 君 (新任)
"	奥 田 教 朝 君 (")	"	渡 邊 和 夫 君 (")
"	加 納 儉 二 君 (")	常 議 員 補 缺	井 島 春 海 君 (")
"	片 平 信 貴 君 (")	"	石 塚 久 展 君 (")
"	佐 藤 九 郎 君 (重任)	"	榎 本 萬 里 君 (")
"	篠 原 武 司 君 (新任)	"	佐 藤 寛 政 君 (")
"	高 野 務 君 (重任)	"	高 谷 高 一 君 (")
"	谷 藤 正 三 君 (新任)	"	種 谷 實 君 (")
"	坪 田 正 造 君 (重任)	"	吉 田 朝 次 郎 君 (")
"	平 井 彌 之 助 君 (")		

猶同月 25 日開催せる常議員會に於て理事 (各部長) を下記の通り決定致しました。

理 事	總務部長	松 井 達 夫 君 (新任)
"	經理部長	加 納 儉 二 君 (")
"	編輯部長	平 井 敦 君 (")

理事	法制部長	篠原武司君()
"	調査部長	山本三郎君()
"	東亞部長	佐藤九郎君(重任)

名譽會員推舉

昭和 21 年 5 月 18 日開催せる總會に於て名譽會員に下記 3 名を推舉致しました。

名譽會員	工學博士	吉町太郎一君
"	"	牧彦七君
"	工學士	生野團六君

昭和 20 年度決算報告

自 昭和 20 年 1 月 1 日
至 昭和 20 年 12 月 31 日

普 通 經 費

収入之部		支出之部	
1. 會費	21,123.80	1. 事務費	30,175.43
2. 雜收入	6,048.70	2. 會誌費	3,909.71 (用紙代)
3. 繰入金	27,480.69	3. 會議費	7,768.05
.....	4. 負擔金	300.00
.....	5. 交付金	12,500.00
合計	54,653.19	合計	54,653.19

特 別 經 費

収入之部		支出之部	
1. 會費	11,574.98	1. 事業費	4,081.96
2. 雜收入	1,458.53	2. 諸費	30,654.61
3. 繰入金	21,703.06
合計	34,736.57	合計	34,736.57

30 週年記念事業費

収入之部		支出之部	
1. 前年度繰越金	40,411.46	1. 事業費	3,136.34
.....	2. 翌年度へ繰越金	37,275.12
合計	40,411.46	合計	40,411.46

事 業 資 金

収入之部		支出之部	
1. 前年度繰越金	62,574.61	1. 普通經費へ繰入	27,480.69

.....	2. 特別經費へ繰入	21,703.06
.....	3. 翌年度へ繰越金	13,390.86
合 計	62,574.61	合 計	62,574.61

基 金

收 入 之 部

1. 基金へ繰入指定利子	287.09
2. 會費一時納付金	240.00
3. 前年度繰越金	154,803.00
合 計	155,330.25

支 出 之 部

1. 翌年度へ繰越金	155,330.25
.....
.....
合 計	155,330.25

繰越基金内訳

1. 故古市公威沖野忠雄兩博士記念基金	21,883.43
2. 故白石直治博士記念基金	19,456.81
3. 故山崎鑑次郎博士記念基金	2,061.18
4. 故原田貞介博士記念基金	4,027.68
5. 故廣井勇博士記念基金	10,027.24
6. 故小川梅三郎博士記念基金	1,357.11
7. 故富田保一郎博士記念基金	676.20
8. 故石黒五十二博士記念基金	8,674.76
9. 故近藤虎五郎博士記念基金	6,938.01
10. 故中島鏡治博士記念基金	3,939.31
11. 故坂田貞明君記念基金	1,513.96
12. 故岡崎芳樹博士記念基金	2,407.33
13. 故太田圓三君記念基金	3,186.77
14. 故坂本雅雄君記念基金	570.50
15. 故川上浩二郎博士記念基金	1,007.27
16. 故中山秀三郎博士記念基金	2,033.33
17. 岡崎文吉博士記念基金	1,191.67
18. 故野口誠君記念基金	1,000.00
19. 故中川吉造博士記念基金	3,000.00
20. 故廣井勇博士土木賞牌基金	628.75
21. 故古市公威博士土木賞牌基金	515.78
22. 故來島良亮君土木賞牌基金	511.83
23. 故中山秀三郎博士土木賞牌基金	503.33
24. 故物部長穂博士土木賞牌記念基金	600.00

25. 積立基金	35,613.00
26. 關西支部維持基金	22,000.00
合 計	155,330.25

資 産 負 債 對 照 表

資 産 之 部		負 債 之 部	
1. 有價證券	112,290.00	1. 基金	155,330.25
1. 信託預金	39,500.00	1. 事業資金	13,390.86
1. 國債貯金	858.27	1. 30週年記念事業資産繰越金	37,275.12
1. 振替貯金	6,920.53		
1. 普通預金	7,116.64		
		1. 當座預金	5,598.68
		1. 圖書及備品	7,228.25
		1. 未収入金	47,000.00
		1. 現金	35,250.00
		合 計	261,762.37
		1. 圖書及備品並未収入金繰越額	54,228.25
		1. 假受金	1,537.89
		合 計	261,762.37

財 産 目 録 (昭和20年12月31日現在)

1. 有價證券	112,290.00	1. 銀行當座預金	5,598.68
1. 信託預金	39,500.00	1. 圖書及備品	7,228.25
1. 國債貯金	858.27	1. 未収入金	47,000.00
1. 振替貯金	6,920.53	1. 現金	35,250.00
1. 銀行普通預金	7,116.64	合 計	261,762.37

論 文 集 豫 約 募 集 の 件

本年度の論文集は第1號を昭和19年度論文集豫約者に頒ち、第2號から新たに豫約募集をする豫定でありましたが、學會の財政的困難の爲に、第1號から新たに豫約金を募らざるを得ない状態となりました。論文集御希望の方は事情御了承の上、本年度論文集(2冊發行の豫定)に對して豫約金20圓と共に御申込み下さい。尙第1號の内容は次の通りです。

車輪に依る軌條に與へられる側壓應力に關する一試験
 砂の運動機構
 管内に於ける擴まり流れ及平行な流れの流速分布に就て
 吊橋の振り振動に對する安定性に就て(2)

神 谷 修 作
 最 上 武 雄
 青 松 健 一
 平 井 敦